

01 「成長の軌跡」を残す 学級文集づくりのコツは？

担任経験2年目・男性

初任1年目は、年度末まで全てが初めてのことで、子どもたちと成長を振り返る余裕はありませんでした。今年はずいぶん、1年間の思い出を形に残したいと思います。文集づくりの意義や作り方のコツを教えてください。

A 文章化して、自己と友達の成長を客観的に振り返らせよう！

学級開きに始まり、1年間の学校生活を共にした仲間(友達)との取り組みや思い出として残っていることを振り返り、文章で表現し、学級文集としてまとめる活動を通して、自己の成長と友達の成長を共有する。

戦略の構造

学級文集の意義

- 学級を中心とした1年間の学校生活を振り返り、自分の成長を自覚する機会とする。
- 文章を残すことで友達と共有でき、成長の軌跡を記した宝物とすることができる。

作成の手順

何のために、どんなものを作るのか、イメージをもたせる。



子ども一人ひとりが書くテーマと、学級のページのテーマを決めさせる。



文集全体のレイアウトを示し、分担を決めて取り組ませる。

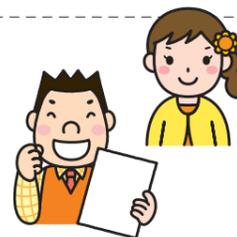


担任の役割

過去の手持ちの学級文集などを見せながら、文集のイメージを膨らませる。



子どもが「ぜひ書きたい」と思う題材を選定できるように例示したり、個々の相談にのったりする。



文集全体のレイアウトや作成過程や、その過程ごとの期限などを示し、子どもが見通しをもって取り組めるようにする。



小学校〇年生のときの、自分や学級生活の思い出・記録となる学級文集づくり

教室掲示の工夫のポイント

「自分史」づくりの体験

「この1年間で最も思い出に残っていることは？」「学級文集として一生手元に残るし、家族や友達にも読んでもらいたい〇年生の自分のことを書くとしたら？」というような問いかけをする。つまり、文集の自分のページを誰に読んでもらうために書くのかという相手意識をはっきりさせたい。楽しい1年間への感謝や自己の成長を支えてくれた人への感謝など、書くことへの意味を自覚することで、書くことへの必要感とともに、モチベーションも高まるのである。

学級のページづくりにより一体感

「4年2組2018年の思い出ベスト10」「あの行事での嬉しかったこの人のひと言」など、まさに学級の思い出を集約するテーマを決めて、ページづくりを進めたい。中学年であれば、教員のある程度のリードでも可能であるし、そうできる主体性や自覚力を年間を通して育てていきたい。学級のページのテーマも、朝の会や帰りの会などでの文集作成実行委員の呼びかけで決めていく。この作業でにぎやかな年度末を迎える学級づくりをしたいものである。

学級文集作成の手順・段取りを踏まえ、具体的な計画を立てよう！

1 できれば、年度当初から文集づくりの構想を立てておく。

文集作成の計画づくり

意図的な題材づくり

題材の保管・蓄積



年度末には、「思い出を共有して残したい」とみんなが思える学級づくりをしよう！

2 作成工程表をつくり、子どもたちと共有する。

文集づくりの授業時間数の扱い

- 国語の「1年間で振り返って……」という3時間程度の「書く」の単元
- 総合的な学習の時間で「1年間の自分の成長」という「自己を見つめる」3時間程度の単元
- 学級のページは、学級活動の時間もしくは時間外で作成する。

学級文集づくり計画表

月	内容
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・文集づくりのねらいやイメージをもとう。 ・家庭の協力もお願いする。 ・文集作成実行委員を決めて作業開始の準備をする。 ・実行委員会から全体レイアウトの発表。
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・学級のページのテーマ募集と決定。 ・一人ひとりのページづくりの開始。 ・各ページの完成。思い出写真や関係の先生からのメッセージなども加える。 ・印刷・綴じ込み。みんなで読み合う。

子どもたちのアイデアを取り入れて楽しい全体構成にしよう！

★ 過去の学年のものを参考にしながら、文集作成実行委員会でアイデアを出し合い、全体構成を工夫させる。

それには、学級のページのテーマはみんなから募集して、面白いのを採用しよう。

ところどころに、学級の思い出の写真やコメントを入れたいな。

全体的に、楽しいものにしたいね。



先生にも、この学級での1年間の思い出を書いてもらおうよ。

【全体構成の例】

ページ	内容
1	表紙(イラスト募集)
2	もくじ
3	中扉(思い出の写真)
4~	担任のページ
9	中扉(思い出の写真)
10~	個人のページ
45	中扉(思い出の写真)
46~	学級のページ
48	裏表紙

- 1年間、伝え続けてきた最も大切な思いを語る。(具体的な場面での子どもの様子を挙げて)
 - 次の年度の子どもへの期待を語る。
- *いずれも、ビジュアルを優先して構成したい。

【テーマの例として】

- とにかく楽しかったこの1年/いちばん心に残った行事は/自分のこんなところが成長したよ
- 友達っていいなと思ったこと/4月からこんなことを頑張る
- 将来(20歳)の自分へ